

ふれあい記録

実施日：平成 30 年 11 月 15 日

当番者名 江口 正彦、山腰 策次郎

コース名：独自コース 64 番「二本木峠～皇鈴山(679m)」

(通し番号 第 145 回)

天 候：晴 (快晴)

参加者名：岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子、熊谷 信雄、柴崎 幸治、新海 昭、船橋 エイ子、細矢 清志、宮原 宏至、山腰 策次郎 (11 名)

<ビジター>市瀬 英雄、鶴岡 重典 (2 名)

計 13 名 (内、男性 11 名 女性 2 名) (五十音順)

交通 (時刻)：東武東上線 小川町駅改札出口 8:00 集合

<往 路>：金沢文庫発 4:52⇒神奈川新町 5:20 着(神奈川新町駅)5:20 発⇒5:38 着(品川駅)5:48 発⇒6:16 着(池袋駅)6:30 発⇒小川町 7:40 着、小川町駅(バス)8:20 発⇒内手(打出)バス停 8:45 着

<複 路>：秋山バス停 15:22 発⇒東武東上線寄居駅 15:37 着 16:03 発⇒森林公園駅 16:35 着 16:38 発⇒横浜 18:05 着

コースタイム (時刻)：

皇鈴山登山口で体操 9:00 出発⇒9:45 着七瀧祓戸大神不動尊⇒10:30 着二本木峠⇒11:05 着皇鈴山 (昼食) 11:40 発⇒12:05 着登谷山 12:10 発⇒12:30 着釜伏峠(釜山神社)12:50 発⇒13:00 着関所跡 13:05 発⇒13:30 着中間平緑地公園(オレンジタイム)13:55 発⇒14:45 着秋山バス停 (解散)

みどころ：外秩父 7 峰縦走コースは、名前の通り宮ノ倉山、笠山、堂平山、剣ヶ峰、大霧山、皇鈴山、登谷山の 7 つの峰を縦走するコースで、今回はそのうちの寄居駅に近い皇鈴山 (679m) と登谷山 (668m) を縦走した。

二本木峠まではかなり急な登攀が続くが、その後はなだらかな尾根歩きが続き、間もなく最初の目的地・皇鈴山へ。頂上は広く眼下には寄居町が、遠くには新宿副都心のビル群やスカイツリーなどが望める。何回かのアップダウンを繰り返し次の目的地・登谷山へ。登谷山からはほぼ下り道、この辺りから舗装道が続く。釜伏峠の近くに釜山神社がある。この神社は、秩父地方に数多くあるオオカミ信仰の神社の一つで、オオカミが狛犬の代りになっている。中間平緑地公園は約 5ha の広さで、展望台などが整備されているほか紅葉の名所としても知られている。

自然観察：この日は快晴で日中の気温は概ね 14～16℃位、日陰に入ると少しヒンヤリと感じたが、歩くには程よい温度であった。また、紅葉の最も美しい時期で、山そのものが紅、黄、緑などに染まっていた。太陽の光を通した色鮮やかな木の葉のシルエットを眺めながら歩くことは心地よく、紅葉を満喫できた 1 日でもあった。

今回のルートは (いつもそうであるが) 里山から入り、里山に抜けるもので、日本の懐かしい原風景にも触れることができた。このような体験ができるのもこの会の魅力の一つであると感じた。

特記事項：この日は幸運にも今年一番と言っていいほどの秋晴れに恵まれた。今回のコースは、二本木峠までの登りはきつかったが、その後の尾根歩きや適度のアップダウン、あるいは神社や緑地公園の散策などと変化に富んだ魅力的なコースであった。コースは、所々に「注意!!クマ出没」の看板があり少し気にはなったものの、全体としては歩行路や標識などがしっかり整備されており、さすが人気のコースなのだと言った。晩秋の青空の下、鮮やかな紅葉を楽しみながら、落ち葉を踏みしめながら歩く山旅は快適そのものであった。